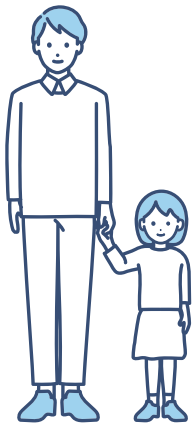


# 学びの先にある「生きる力」とは

未来の創り手となる子どもたちに必要な資質・能力を育みます。



学びを充実させ  
人生や社会に生かしていく

学びに向かう力、  
人間性など

実際の社会や生活で生きて働く  
知識及び技能

未知の状況にも対応できる

思考力、判断力、  
表現力など



学校での学びが自らの生き方や社会に生きるよう  
**三つの力をバランスよく育みます**

## 子どもが主役の学校づくり

子どもが主体的に学習を計画・調整する力や、対話を通して他者と学び合う力を育みます。

### 個別最適な学び

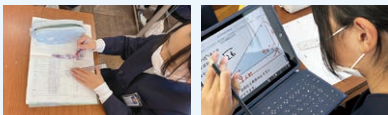
一人一人の特性や学習進度に合わせて、  
子どもが学習内容や学び方を選択し、  
基礎・基本となる知識や学び方を身につけます。

自分のペースで課題に向き合います



「一人でじっくり」「友達や先生と相談しながら」  
「タブレットを使って」「黒板を使って」など  
子どもが学びを自己調整し、教材や方法を選択する

自分に合ったまとめ方を工夫します



ノートに考えをまとめる

タブレット上に考えをまとめる

探究していく学び方を身につけます



自分の課題について調べた内容を発表

学びの  
往還

ICT機器により、  
友達の考えを参照します



自分の考えを他の人と比べたり、  
相手の意見や知識を取り入れたり  
することで、考え方を広げる

### 協働的な学び

先生・友達・地域の方など、  
多様な他者と協働しながら、考え方を組み合わせ、  
よりよい学びを生み出します。

様々な学習形態で意見を交わします



全員で授業の目標や流れなどを確認



自ら学ぶ形態（ペアやグループ等）を選び、  
意見交流を行うことで、本時の目標にせまる



多様な他者と関わりながら学びを進めます



他校との交流（小小連携）



異学年同士の交流



地域の方との関わり

自らの学び（気づきや変容）をふり振り返り、次の学びを設計したり、自ら学習を調整したりする力を育みます